

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 NPO大泉国際教育技術普及センター

1 事業の趣旨・目的

本地域はブラジル人をはじめとする南米系外国人が集住しており、日本語教育の必要性も高く、受講希望者も多い。一方で、複数の日本語講座等が開催されているものの、ボランティア講師の多くは手探りで授業をしており、また日本語教授者としての資質を図るガイドラインも特に無い。この事業を通じて、日本語ボランティア講師のスキルアップを図るとともに、より専門的な知識や効果的な教授法を日本語教育のプロの力を借りて習得することを目的とする。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月11日	NPO大泉会議室	野山広 拝野寿美子 江副隆秀 戸澤江梨香 中西智美 高野祥子 齋藤俊輔 阿部勇次郎 堀江幸男	・指導法について ・修了書の発行について ・質疑応答	・江副式を導入するため、どのような指導の仕方が江副先生より説明をしていただく。 ・80%の出欠をもって修了書を発行とする。
12月28日	NPO大泉会議室	野山広 拝野寿美子 江副隆秀 戸澤江梨香 中西智美 高野祥子 齋藤俊輔 阿部勇次郎	・江副式の意義 ・今の外国籍の子供達の日本語取得法	・体を使う教え方により聾啞者、子供なども覚えやすく、これからの新しい指導法となるのではないか。 ・ベースとなる指導法が確立されていないため、個人・個人で変わるた

		堀江幸男		め、子供達もとまどってしまうのではないか。
--	--	------	--	-----------------------

【写真】(会議風景の写真を1～2枚参考に添付して下さい。)



3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 日本語教育のプロに学ぶ！ボランティア講師のスキルアップ講習（修了書発行）
- (2) 養成講座の目標
この事業を通じて、日本語ボランティア講師のスキルアップを図るとともに、より専門的な知識や効果的な教授法を日本語教育のプロの力を借りて習得することを目的とする。
あわせて、本事業で一定のレベルに達した者に修了証を交付することで、日本語教育に対する自信と意識向上を図ることも目標とする。
- (3) 受講者の総数 ブラジル 5 人 日本 11 人
- (4) 開催時間数(回数) 24 時間 (12 回)
- (5) 参加対象者の要件

日本語ボランティア講師（２年以上の日本語指導の経験を有するものであること）

(6) 受講者の募集方法

地域のブラジル人商店にポスターを掲示および配布でよびかけるほか、知人、友人など人的ネットワークを駆使する。

(7) 研修会場

(8) 使用した教材・リソース

1. ブラジル日本語センター

『1, 2, 3 日本語で話しましょう（教師用指導書）』

2. 新宿日本語学校

『日本語教授法の一考察』、『新実用日本語』、『江副ノート』、『重箱カード』

3. 創拓社

『日本語の助詞は二列』

4. File Maker（但し、クラスでは試行版を利用するので無料）、

5. その他

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
7月17日 14:00～ 16:00	「指導者養成コース」 漢字教育の重要性 他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
7月31日 14:00～ 16:00	「指導者養成コース」 品詞分けと文法ノ ートの使い方他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
8月28日 14:00～ 16:00	「指導者養成コース」 日本語の助詞は2 列他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
8月29日 14:00～ 16:00	「指導者養成コース」 日本語の文法構造 他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名

10月30日 14:00～ 16:00	「指導者養成コース」 助詞の数え方他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
11月6日 14:00～ 16:00	「指導者養成コース」アクションで教える日本語他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
11月20日	「指導者養成コース」重箱カードで教える日本語他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
12月11日	「指導者養成コース」授受表現他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
12月18日	「指導者養成コース」授業の流れの作り方	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	15名
1月15日	「指導者養成コース」アクションで教える日本語他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
1月22日	「指導者養成コース」教科書にでてくる単語・文の導入他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名
2月6日	「指導者養成コース」ロールプレイを体験他	学校法人新宿日本語 学校(校長)他	16名

(10) 講座の評価

- ① 受講生に対するアンケート
- ・今までどう教えていかなかったところが理解できた。
 - ・体を使うことにより、覚えやすい。
 - ・今後もこの指導法を取り入れていきたい。
 - ・助詞の説明は目からうろこでした。必ず使わせて

いただきます。

・今回だけではなく、次回も受講したい。他

- ① 実施主体からの研修内容結果評価
- ・初めての試みでしたが、皆熱心に参加してくれたので、この講座は成功と考えられる。
 - ・講座の継続を望む。

- ② 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画
- ・この講座に参加し、修了書を取得することにより、教授者としての自信を持って、日本語の指導ができるとともに、指導者が増えることで、ブラジル人学校、国際交流課事業などの日本語支援に携われる。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

現在実施しているブラジル人学校での授業等で日本語学習の場面で直接的に学習につながる教育を実施している。また、これらの知見を背景に、進学準備・進学指導等を通し、受験というレベルも視野にいて、進学事業にも関連づけている。それが、目標設定と相まって、上級学校への進学意欲を高める結果を生む可能性がある。

- ② 研修後の人材活用
- ・貴庁に委託申請をしている、日本語教室の講師
 - ・関連する日本語教育機関のみならず、地域のボランティア活動、個人ベースのクラス活動など日本語教育と関連する現場で、研修後の人材が活用されている。(ブラジル人学校、国際交流課日本語教室等)

(12) 今後の課題

- ・希望者が多く、新規で募集するか、今回の続きでステップアップを目指すか。
- ・資格を取得しても、学生、勤労者のため、やはり、夜などの講習があるのが望ましいと考える。